

森林整備の推進に向けた高性能林業機械の導入

1. 林業事業者等名 協同組合ソーホー（静岡県静岡市）

2. 林業事業者の概要

①年間素材生産量 3,700m³（うち 間伐の占める割合 85%）

②生産する主な樹種 スギ、ヒノキ

③素材生産に関わる作業員数 15名（1セット5名ほか※） ※組合員の作業システムによる

3. 取組の特長

①グラップル付きバックホーの導入による作業の効率化、生産性の向上

②フォワーダの導入（前回の設備投資）による作業の効率化、生産性の向上

4. 具体的な内容

①施業方法：

作業道を開設し、利用間伐（定性間伐）を主体とした搬出を実施している。

材木市場の動向等により、需要者が必要な材を優先的に搬出することで、年間を通じて安定した供給を行っている。

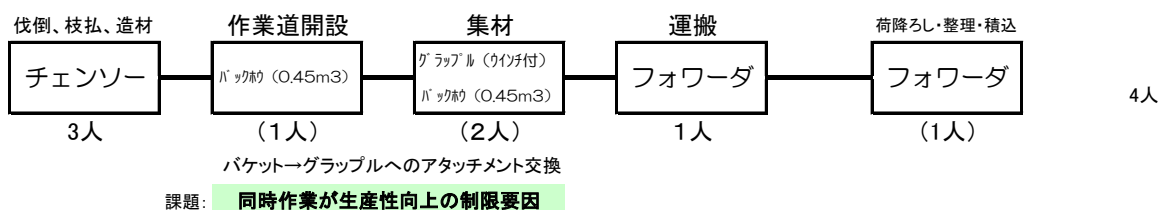
②使用機械：グラップル2台、フォワーダ2台ほか※

※ 他に組合員の保有機械あり

③生産システム：

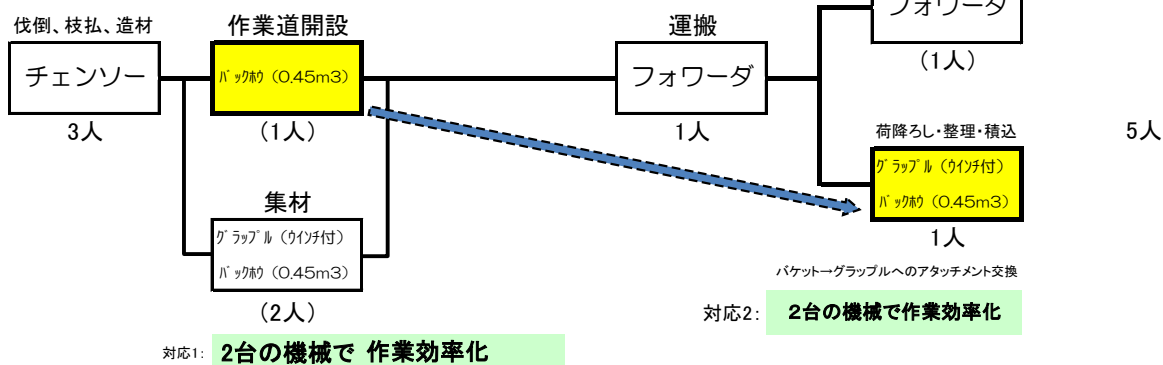
●現状

作業員合計



●導入後

作業員合計



④森林作業道の作設方法：

排水処理や路肩処理を適切に行い、必要に応じて、法面に木柵や丸太積土留を設置することで、繰り返し使える作業道となるよう配慮している。

⑤労働生産性及び素材生産コスト：

| | 旧生産システム | 新生産システム |
|------|---|---|
| 利用間伐 | 労働生産性 ($\text{m}^3/\text{人}\cdot\text{日}$) | 労働生産性 ($\text{m}^3/\text{人}\cdot\text{日}$) |
| 皆伐 | 3.5 | 4.1 |

- ・新生産システムの導入により、労働生産性を約 20%向上させたことで、素材生産コストが削減され、森林所有者への利益還元に繋がった。

5. 今後の取組等

- ・協同組合ソーホーは、静岡市内の森林を主な事業区域として林業行う組合員が組織した機械の協同利用を目的とした協同組合である。
- ・組合員においては、森林経営計画の樹立や、施業集約化の実施等により、計画的かつ環境面にも配慮した森林整備を実施している。
- ・また、機械化により、森林作業道の開設及び効率的な利用間伐を進め、事業規模の拡大を目指しているところであるが、木材価格の低迷等により、採算性の合わない森林が多く、今後も安定的かつ、持続的に利用間伐、路網整備を行っていくには、さらなる生産コストの低減、生産性の向上を図っていくことが必要となっている。
- ・今回、グラップル付きバックホーを購入したことで、作業道開設及び荷降ろし・整理・トラック積み込み作業の効率化を実現した。今後も、出材コストの低減（生産性の向上）を図っていく。



【チェーンによる伐倒・枝払い・玉切り】



【グラップル、フォワーダによる積込・運搬】

【問い合わせ先】

所属：静岡県中部農林事務所森林整備課

役職・氏名：主査 森 正樹

連絡先： 054-286-9066